



なんよう



No.113
2023.7.1



新会長就任の挨拶

佐賀大学楠葉同窓会会長

江口 達也

(経済学部 経済学科)
昭和56年度入学

向暑の候、楠葉同窓会の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、令和5年度の総会におきまして会長に選任されました江口達也と申します。学生時代は陸上部で走ってばかりいました。卒業後は母校佐賀大学に就職し後輩のお世話をしてきました。この春に36年間勤務した佐賀大学を定年退職し、佐賀県内企業に再就職して新しい仕事に取り組んでいるところです。したがって新卒者の気持ちはよく分かります。

楠葉同窓会も設立後50年以上となり会員数は15,000名を超えています。ということはそれだけ幅広い世代が会員になっているということです。同窓会の最大の目的は「会員相互の親睦」であり、私たち役員はどうしたらミッションを遂行し、会員のみなさんの日々の生活に元気をもたらすことができるか頭を捻っています。

普段、同窓会を意識することは少ないと思いますが、誰も知り合いがない土地や場所で「佐賀大学」の文字や言葉があると励まされるのではないのでしょうか。私も再就職先で挨拶回りをしているとき佐賀大学卒業生（同窓生）に出会って不安が解消されました。

ライフスタイルの変容やコロナの影響でまだまだ人が集まりにくい状況です。また、多忙な日々の中、同窓会の優先順位を上位にランクさせるのは難しいかもしれません。しかし、下位ながらコンスタントにランクインさせることなら可能かもしれません。幸い役員にはいろいろな経験や知恵を持った人がたくさんいます。一気にすべてを解決する取り組みは難しいかもしれませんが、力を合わせて少しでも前に進みたいと思っています。

そのためには会員のみなさんの力が必要です。ぜひご意見をお聞かせください。また、投稿を読んでもらうと分かりますが佐賀は大きく変貌を遂げています。県外在住の方は同期会を企画して母校を訪れてはいかがでしょうか。

それでは今後ともよろしく願います。どこかでお会いしましょう。

佐賀大学楠葉同窓会 役員名簿 (R5/4～R7/3末)

| 役職 | 氏名 | (入年・学科) | [担当] | 役職 | 氏名 | (入年・学科) | [担当] |
|-----|-------|-----------|------|----|--------|-----------|------|
| 会長 | 江口 達也 | (昭56年・経済) | | 理事 | 中島 誠一郎 | (平8年・経済) | [会報] |
| 副会長 | 中川 哲也 | (昭47年・経済) | [総務] | 理事 | 坂口 暁哲 | (平9年・経済) | [会計] |
| 副会長 | 大塚 浩司 | (昭55年・経済) | [組織] | 理事 | 小渕 則子 | (昭58年・経済) | [名簿] |
| 副会長 | 八谷 浩司 | (昭57年・管理) | [情報] | 監事 | 公門 章弘 | (平2年・経済) | |
| 副会長 | 松尾 和俊 | (昭58年・経済) | [会報] | 監事 | 黒木 泰彦 | (平7年・経営) | |
| 副会長 | 坂田 智宏 | (昭58年・経営) | [会報] | 顧問 | 久間 善郎 | (昭32年・法律) | |
| 理事 | 笠原 幸雄 | (昭59年・管理) | [組織] | 顧問 | 梅崎 正道 | (昭33年・経済) | |
| 理事 | 坂本 裕三 | (昭62年・管理) | [会報] | 顧問 | 石丸 新 | (昭40年・法律) | |
| 理事 | 志波 良 | (昭63年・経済) | [組織] | 顧問 | 江口 洋一 | (昭44年・経済) | |
| 理事 | 植田 慎幸 | (平元年・経営) | [名簿] | | | | |

令和5年度の楠葉同窓会総会を「アパホテル」にて開催

令和5年度の楠葉同窓会総会が5月27日(土)16時から佐賀市内のアパホテル（旧佐賀ワシントンホテルプラザ）にて開催されました。

総会では、江口洋一楠葉同窓会会長の挨拶の後、令和4年度事業・決算についての報告があり、第3号議案として、任期満了に伴う役員改選について審議されました。

審議の結果、江口達也氏（経済：56年入学）が楠葉同窓会の新会長として了承、副会長には新たに坂田智宏氏（経営：58年入学）が就任されました。

また、役員改選後、江口前会長の功績と労いの意を込めて江口新会長より花束が贈呈されました。

総会は、その後令和5年度事業計画（案）・予算（案）が了承されました。

江口新会長からは、楠葉同窓会の若返りを促進し活気ある同窓会へ変貌すべく改革を行ってきたいとの力強い言葉がありました。

総会後は、各部会から最近の動向などについて報告をいただき、続いてホテル1階に移動、懇親会が開催されました。新型コロナの影響で4年ぶりに開催された懇親会では、江口新会長の挨拶に始まり、各支部の方々とお話も弾み、和やかな雰囲気の中での楽しいひとときとなりました。

【総会】

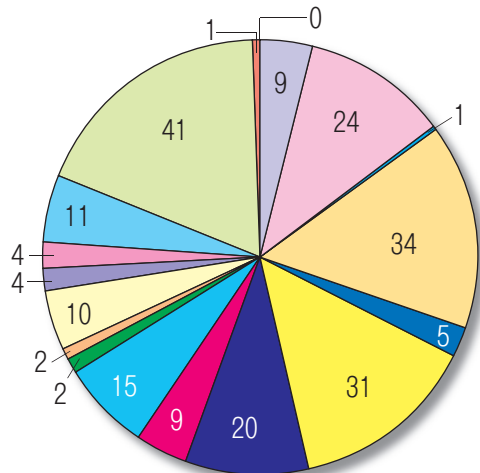
日時：令和5年5月27日(土) 16時～

会場：アパホテル（旧佐賀ワシントンホテルプラザ）11階「若楠ホール」



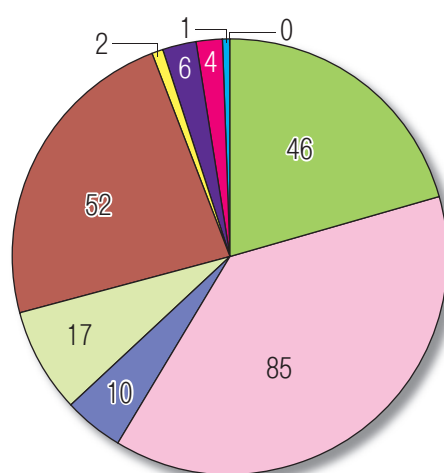
令和4年度 経済学部就職状況

産業分類別就職者



- | | |
|---------------|----------------|
| 農業、林業 | 学術研究、専門技術サービス業 |
| 建設業 | 宿泊業、飲食サービス業 |
| 製造業 | 生活関連サービス業、娯楽業 |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | 教育、学習支援業 |
| 情報通信業 | 医療、福祉 |
| 運輸業・郵便業 | 複合サービス事業 |
| 卸売・小売業 | サービス業 |
| 金融・保険業 | 公務 |
| 不動産業・物品貸借業 | その他 |

地域別就職者



- | | |
|-------|--------|
| 佐賀県 | 中部 |
| 福岡県 | 近畿 |
| 長崎県 | 中国・四国 |
| その他九州 | 北海道・東北 |
| 関東 | その他 |



経済学部就職委員長 中西 一

楠葉同窓会の皆様におかれましては、日頃からさまざまな形で本学部生へのご支援をいただいております。心より感謝を申し上げます。

2022年度就職活動につきましては、コロナ禍も3年目ということで、ほぼ正常化が進んでおりました。経済学部就職率も2022年度は99.6%となっており、コロナの間に悪化しておりましたが急回復しております。結果コロナ前の、ここ5年間のピークだった2019年度99.2%を上回るに至っております。もう一つの懸念は、近年インターンシップの普及や採用の早期化など就活情勢が大きく変わっており、学生側の適応について不安がありました。結果としては、学生側がコロナにも就活市場の変化にもしっかりと対応を進めてきたことが読み取れます。さらに基本的には少子化を背景に売り手市場となっていることがありとされます。産業分野別の構成としては公務員が今年も堅調（数比率共に前年度上回る）であった他、近年シェアを高めている情報通信は微増でした。他方、近年減少中だった金融・保険業や卸売・小売は数字を若干戻しております。

昨今の就活情勢は大きな変化を被っており、民間採用におけるインターンシップの普及と選考早期化、また公務員の方も学科試験より民間に近い選考採用スタイルになってきており、学生側に大きな適応の努力を強いるものです。経済学部就職委員会も就職ガイダンス等を通じて様々な形で情勢変化の伝達と啓蒙を行っております。数字を見ますと、大半の学生がこのような環境変化にも関わらず、うまく適応して内定等を勝ち取っているように見受けられます。他方で、一部の学生が適応に苦しんでいる様子も散見されます。

このような情勢の下、同窓会の皆様との人的なつながりが、過去よりもより一層重要性を帯びてきていると思われれます。より具体的には、インターンシップやOB・OG訪問のような形で、同窓会の皆様に御世話にならないといけない局面が、就活市場の急激な変化によって、過去と比べても確実に増えていると思われれます。楠葉同窓会の皆様には引き続き、本学部生への厚いご支援を賜るべく、心よりお願い申し上げます。

「在学生の声」

挑戦で変わったコロナ禍の大学生活

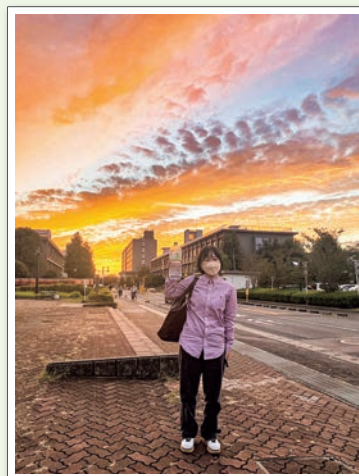
経済学部 経営学科4年 今泉 千優

挑戦は大切だ！と、人は言います。就職活動を行っていても、求める人物像や社風として掲げている会社の存在を数多く目にします。コロナ禍はこの挑戦の大切さを、自分ごととして考える大きなきっかけとなりました。

高校を卒業し、新しい生活に期待を膨らませていた3年前。キラキラとした大学生を思い描いていましたが、実際は全く異なりました。新型コロナウイルスの影響で入学式はなく、講義もオンライン中心の形態が当たり前でした。高校時代の友達と電話をしながら、講義もつまらない、大学に友達もできない、と不満ばかり口走る毎日でした。ですが、本当に何もできなかったのでしょうか。蓋を開けてみるとバイトやサークル、インターンなどに積極的に参加している学生も沢山おり、自分がいかに閉鎖的な空間で情報を集めるのを怠っていたかを実感しました。自分も何かしたい！と思い、動き始めたのが大学生活のスタートでした。

佐賀大学は情報や機会を求める人に対し、それらを提供する環境が整っています。会計に関心を持ったことから、先生に会計士の方と繋いでいただいております。国際推進センターに付随した国際系学生団体でイベントの企画や運営をおこなったり、自ら動けば多くのサポートをいただけます。また、4年生後期には半年間の留学を予定しており、この経験が自分の価値観に大きな変化をもたらすと確信しています。情報収集をし、それらをもとに行動に移していくことで、自分の大学生活が充足感に満ちたものになっていくことを実感しました。コロナ禍だったからこそ、挑戦したことで変わる周囲の色の変化をより大きく感じる事ができたのではないかと思います。

せっかく自分のしたい！を叶えてくれる佐賀大学にいる皆さんには、積極的に挑戦をし、学生だからこそできる経験を沢山していただきたいなと思います。私も残りの1年、ハングリー精神を忘れず多くのことを吸収し、感性豊かな社会人になります！



唐津から通う佐賀大学生



経済学部 経営学科2年 鶴田 絢子

初めましてこんにちは。令和4年度に入学した佐賀大学2年の鶴田絢子です。ぎりぎり成人式が成人した年に行われない年齢です。今回私はゼミの先生からお話をいただいてこの記事を書かせてもらっているのですが、ゼミは2年から、サークルも入ったばかりなので書く内容に悩みました。ですので、一つの話に内容を絞るのではなく、地元「唐津」から電車で通う大学2年生の日常について綴っていこうと思います。

まず恥ずかしいことですが、学年が上がって大学に慣れてきた最近、余裕をもって朝起きることが出来なくなりました。1年生の頃は1限が多く朝早くに起きていたのですが、2年生になって講義数は減り、大学に行くのは週3。1限はなく、家を出る時間もバラバラなので朝決まった時間に起きるのが困難になりました。唐津と佐賀間の電車は1時間に一本で、佐賀まで80分ほどかかります。一本乗り遅れると講義には間に合わないので絶対に電車には乗り遅れまいと必死です。通学の電車ではだいたい友人と一緒に爆睡しています。この電車の時間を勉強などに使えたらいいのには思っているのですが…。佐賀大学までは自転車で駆け抜け、本数が少ない電車の時間に合わせて行動するため、佐賀で遊んだりサークル活動に勤しんだりする余裕はありません。ですが2年に上がった今は大学に慣れ、時間の余裕もできたため、サークルや資格取得など新しいことに取り掛かり始めました。

サークルは教室を探している時に案内してくださった先輩から勧誘されたことで知り、友達と一緒に入りました。入ったばかりですが同じ目標をもって活動する楽しさを少しずつ感じています。資格取得に関しては、秘書検定を11月に取りを目標にしています。中学校からの友人が資格勉強を始めたと聞いて、私も何か資格を取りたいと思ったことがきっかけです。1年の頃より時間的余裕があるし、電車の時間を活用することができると思いました。資格勉強は独りでやるのではなく誰かと頑張るほうがモチベーションは上がるということを経験しているので、友人と高め合えたらいいなと思います。

唐津から佐賀大学に通っている私ですが、せっかくなので地元のことを知っていきたいと思い、唐津巡りを始めました。高校生の頃は部活や勉強、課外活動で忙しく、休日は近場で遊ぶのではなく、高速バスで行くことができる福岡に行っていました。そのため、学校や家周辺などの行動範囲以内の唐津のことしか知りませんでした。自由な時間が多い大学生の今、どんなお店があるのか、どういう人が唐津に住んでいるのか、唐津を巡って知っていきたいと思い、高校の頃に行きたくても行けなかったお店や勧められた場所、唐津で行われるイベント等に行っています。唐津から佐賀大学に通うのは時間やお金がかかりますが、それ以上に唐津から佐賀大学に通うメリットを大きく感じ、時間を大切にしながら大学生活を楽しんでいきたいと思っています。ここまで読んでいただきありがとうございました。



「学生生活を振り返って」

経済学部 経済学科3年 辻 彩乃

初めまして。佐賀大学経済学部ゼミナール連合会に所属しております、経済学部経済学科3年の辻彩乃と申します。今回、執筆の依頼をいただき、書かせていただくこととなりました。題材は自由とのこと、何について書くか、1週間ほど悩みました。悩んだ末、この機会に学生生活を振り返ってみようと思いました。私の学生生活を一言でまとめると、「あっという間だった」という言葉がぴったりであると思います。友人とも「もう就活?! もう卒業?!」という会話をすることが多くなりました。高校生時代に噂で聞いていたのは、「大学は人生で1番楽しい」という話でした。しかし、いざ入学してみると、授業や課題、アルバイトに追われる日々で、「思っていた大学生活と違う」というのが最初の感想でした。高校と大学では、授業の仕方や制度が全く異なり、慣れるまでは大変でした。特に私が1番苦労したのは、履修登録でした。自分で授業を組むのは、単位数や授業内容についてなど考えることが多く、時間と労力がかかりました。もちろん、大変なことばかりではなく、アルバイトを始めたことで自由に使えるお金が増え、友人と旅行に行ったり欲しいものを買ったりと充実した日々でもあり、数え切れないほどの思い出を作ることができました。

大学生になって、アルバイトや友人との旅行、車の運転など、初めての経験をたくさんすることができました。それぞれの経験が、全て自己の成長に繋がっていると思います。様々な人とのコミュニケーションを通して、多様な考えを知ることができ、視野が広がりました。今大学3年ですが、大学生活も後半に突入し、年々時が経つのが早く感じるようになりました。インターンシップや自己分析、企業研究などの就職に向けた活動が本格的に始まり、就職への不安や焦りが押し寄せてきています。

今はまだ、自分が大学卒業後に働いている姿が想像もつきません。就職への不安を払拭することができるように努力を怠らず、後悔することがないように就職活動を進めていきたいです。大学を卒業したときに、「大変だったけど楽しかった」と思えるように、これからの大学生活を過ごしていきたいと思っています。長くなりましたが、以上で私の話を終わらせていただきます。最後まで読んでいただき、ありがとうございました。





卒業生の近況報告



平成30年経済学部 経済法学科入学 森永 莉佳子

佐賀大学職員 医学部学生課



はじめまして。令和4年4月より、佐賀大学職員として医学部学生課に勤務しております、森永莉佳子と申します。

私は、佐賀大学経済学部経済法学科を卒業しました。在学中は社会保障法のゼミに所属していました。学生時代はボランティア活動やアルバイトに力を入れ、在学中にしかできないことに挑戦してきました。3年次に進級した頃、コロナ禍に突入し、講義が遠隔形式に切り替わったり、就職活動の形態も大きく変わったりと、前例のない時代を経験し、焦りや不安の感情を抱えながら、日々を過ごしてきました。しかし、このような状況だからこそ挑戦できたことも多くあります。例えば、ゼミ活動の一環で台湾の学生とオンライン上で意見交換会を行ったり、就職活動ではオンライン面接に挑戦したりし、新しいスキルを身につけることができました。このような経験を通じて、私は自己研鑽の大切さや柔軟性の必要性などを学びました。

大学を卒業してまる1年、社会人2年目となりました。所属している医学部学生課では、教務を担当しており、講義や試験の管理、学生の単位や成績管理などを担っています。窓口業務も多く、窓口を訪れる学生さんと接する中で、新たな発見と経験を積み重ねています。入職前から学生系の部署に就きたいと考えており、それが今まさに叶っていて、毎日の業務に非常にやりがいを感じています。自身が学生だった頃を思い出して、丁寧な対応をすることを心がけています。また私は、医学部での仕事で医療教育に直接携わることができるという点に大きな魅力を感じています。先生方とも関わる機会が非常に多く、入職前はまさか自身がこれほど医療と密接な仕事をするとは想像もしていませんでした。医療職を目指す学生さんたちの学生生活の一助となっているという実感こそが、今の私の原動力となっています。有難いことに、大きな仕事を少しずつ任されるようになり、担当している業務も周りの上司に助けられながら、なんとか1つずつクリアしています。今後、様々な部署を経験することになるかと思いますが、現在の部署で培った経験を胸張って活かせるよう、今は目の前の仕事を一つ一つ丁寧にこなし経験値を上げるために、鍛錬していくつもりです。

最後となりましたが、所属ゼミの平部先生をはじめとする、大学時代からお世話になっていた先生方、4年間苦楽を共にした友人、そして現在の職場の先輩や上司の方々に、心より感謝申し上げます。佐賀大学との縁も6年目。このご縁を大切に、今後も佐賀大学の発展をお祈り申し上げます。





SAGA2024国スポ・全障スポに向けて

平成27年経済学部 経済法学科入学 井手 勝章

スポーツ庁 競技スポーツ課 (佐賀県庁 SAGA2024総務連携チーム付)

楠葉同窓会の皆様、こんにちは。佐賀県庁からスポーツ庁へ派遣されている井手勝章と申します。

大学時代の学科は経済法学科で、行政法の児玉ゼミに所属していました。卒業してもう4年経ちますが、今でもバーベキュー面接やゼミ終わりのじゃんけん大会などの楽しかった記憶がたくさん思い出されます。

またスポーツは、小学4年生から始めたサッカーを社会人になっても続けていて、公務員試験の勉強を始めた大学3年のはじめ頃までは週6日プレーしていました。(あとは小さい頃に柔道と水泳をかじった程度です。)よく考えたらサッカーをするために毎日大学へ通っていたな、と今思い返してみても感じます。

その後、大学を卒業して佐賀県庁に入庁し、土木と産業の2つの部署で経験を積み、今年4月よりスポーツ庁に派遣となりました。

現在は、国民スポーツ大会(国スポ)担当として国スポ関係の事務や会議への出席、日本スポーツ協会や開催県及び各競技団体との連絡・調整などの業務を担当しています。

来年開催されるSAGA2024国スポ・全障スポは記念すべき第1回目の国民スポーツ大会であり、これまでの国体(国民体育大会)から大きく変わる、新しい大会です。

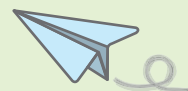
選手の活躍にスポットを当てた個人表彰の創設や、ナイターゲームの開催、分かりやすいライブ配信の実現など今後の国スポのロールモデルとなる新しい取組に挑戦する大会となっており、このタイミングで国の担当者として働けることにとても大きなやりがいを感じています。

人事課から「スポーツ庁に派遣」と言われたときは、「似た名前の人と間違えているんじゃないかな」とか、「佐賀から出て暮らしたことがないけど大丈夫かな」、「スポーツ関係の業務経験は無いし、国スポについても正直あまり知らない…」などプレッシャーを感じることもありましたが、またとない機会を与えていただいたことは間違いないので、今はこのポジションを一生懸命やり遂げるため知らない言葉や業務と日々戦っているところです。

来年に迫ったSAGA2024国スポ・全障スポの成功に向けて、東京から盛り上げていくためにスポーツ庁の皆さんと力を合わせて頑張ります！

この近況報告を読んでもらった皆様も、ぜひ一緒にSAGA2024の成功に向けてサポートをいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いたします！





新時代のエンターテインメントアリーナ 「SAGAアリーナ」グランドオープン！

昭和58年経済学部 経営学科入学 坂田 智宏

皆さんはもう行かれましたか、5月13日にグランドオープンした多目的アリーナ「SAGAアリーナ」(佐賀市日の出2)！我々が学生の頃は確か総合運動場と呼んでいた施設の南側駐車場だったスペースにオープンしました。

全席にカップホルダーを装備し、カップル席やマス席等々、国内最多のバリエーションを誇る約8,400席の観覧席は最大斜度35度のすり鉢状で、どの席からも見やすく臨場感あふれる体験ができます。また、センターハングビジョンをはじめとした3つの大型ビジョンを国内で初めて3つ標準装備した館内では、エンターテインメント性の高い演出が可能となったことから、バレーボールの久光スプリングス、バスケットボールの佐賀バルーンズなどのプロスポーツの試合や人気アーティストのコンサート、それだけではなく大規模な国際会議や見本市など、これまで佐賀では体験できなかった多彩なイベントが予定されています。

また4月にはSAGAアリーナを含むSAGAサンライズパークと国道を挟んで東側に位置する佐賀市文化会館を結ぶ栄光橋が開通したことで、双方の一体的な利用が可能となりました。そのほか、新設された3つのコースが楽しめるランニンググループも多くの方が利用されています。

一方でSAGAアリーナには来場者用の駐車場がないのですが、ご安心ください。佐賀駅からは徒歩15分、市営バスや昭和バスなどが1時間当たり5～7便発着していますし(所要時間5分)、イベントによっては近隣商業施設と提携したパーク&ライドやシャトルバス/臨時列車の運行なども行われる予定です(事前にSAGAアリーナのホームページで確認)。

スポーツ観戦で、コンサートで、そしてビジネスで、どうぞSAGAアリーナへお越しください。



外観



コンサート



バスケットボール



アリーナ外



佐賀のスポーツ界

昭和62年経済学部 管理科学科入学 坂本 裕三

皆さんは、現在行われている「国民体育大会（国体）」の名称が「国民スポーツ大会（国スポ）」に変わるのをご存じでしょうか？主旨としてはスポーツを通して世界各国と協調していくため、世界的に広く用いられている「スポーツ」という言葉を用いるための変更だそうです。その記念すべき第1回「国民スポーツ大会」が佐賀で開催されることになり、佐賀県が佐賀県内の自治体や企業と共に選手の育成・強化に取り組んでいて、着実に成果が出始めており佐賀のスポーツ界は大きく盛り上がっています。

また、佐賀県は人口約80万人と全国でも人口が少ない県に含まれるのですが、プロスポーツ界では、サッカー、バスケットボール、バレーボール、ハンドボールの各トップリーグに所属するチームが4チームもあり、各チームとも大活躍しています。

まず、サッカーの「サガン鳥栖」、チーム発足当時は大変苦労しましたがJ1リーグに昇格してからは一度もJ2リーグに降格することなく、昇格後12年目の今シーズンも上位を狙える位置につけています。

バスケットボールでは「佐賀バルナーズ」が昨シーズンB2リーグで見事優勝を果たし、今秋から始まるシーズンではいよいよB1リーグでの戦いが始まります。2018年の創設後わずか5年でトップリーグに昇格という素晴らしい成績を残してくれています。

バレーボールでは「久光スプリングス」、V1リーグ過去5年で2回の優勝を誇る強豪チームです。昨年までは試合は佐賀、練習拠点は神戸という状況でしたが、今年から練習拠点を鳥栖に移し、正真正銘の佐賀のチームになりました。

ハンドボールでは神崎市を本拠地とする「トヨタ紡織九州レッドトルネード佐賀」が日本ハンドボールリーグ（プロリーグ）に在籍し毎年好成績をおさめています。

いずれも地方都市のチームということで、大都市のチームと比較して選手強化、財政面などで様々なハンデを負っていますが、知恵と工夫と、なにより佐賀県をスポーツで盛り上げたいという情熱で選手・スタッフともに頑張ってくれています。

このように、佐賀のスポーツ界は来年の「国スポ」開催をはじめ、プロ・アマを問わず大変盛り上がっていますので、全国各地の同窓生の皆様もご注目の程よろしく願いいたします。



令和4年度 事務局日誌

- 4月6、7日 楠葉同窓会 会計監査/小会議室
28日 楠葉同窓会 第1回楠葉同窓会役員会/多目的室
28日 楠葉同窓会 会報部会編集会議/多目的室
5月23日 楠葉同窓会 総会（書面会議）資料送付
27日 楠葉同窓会 第1回経済学部協議会/経済学部長室
6月29日 楠葉同窓会 第2回楠葉同窓会役員会/多目的室
7月8日 楠葉同窓会 第2回経済学部協議会/経済学部長室
14日 楠葉同窓会 第3回経済学部協議会/経済学部長室
中旬 楠葉同窓会 「なんよう」No.112 会報誌送付
8月上旬 楠葉同窓会 会費納入・動向調査
10月4日 楠葉同窓会 交流会打合せ/多目的室
6日 楠葉同窓会 第3回楠葉同窓会役員会/多目的室
20日 楠葉同窓会 就職支援のための交流会「仕事もいろいろ」/教養教育2号館
講師 佐賀警察署 丸山 智也 氏 H27年卒
講師 佐賀銀行 平井 和徳 氏 H21年卒
11月5日 全学同窓会 第11回ホームカミングデー
19日 全学同窓会 第30回佐賀県青春寮歌祭/エスプラッツ
22日 楠葉同窓会 経済学部との意見交換会/多目的室
1月19日 楠葉同窓会 第4回楠葉同窓会役員会/多目的室
3月24日 学位記授与式/佐賀市文化会館

第12回ホームカミングデーの開催

【期日】 令和5年10月下旬～11月上旬の土曜日

【場所】 佐賀大学本庄キャンパス

【目的】 佐賀大学の卒業生に母校佐賀大学を訪問していただき、母校の現状を知り、恩師・学友との再会と交流を深め、今後の母校へのご理解とご支援をいただければ幸いです。

【対象】 卒業年等にかかわらず、すべての同窓生と本学の名誉教授

【内容】 大学の近況報告、講演、在校生によるアトラクションなど

※詳細は決定次第、佐賀大学校友会のホームページでお知らせします。

(URL <https://koyukai.admin.saga-u.ac.jp/hp/event.html>)

第11回佐賀大学ホームカミングデー（令和4年11月5日開催）の様子は、こちらからご覧ください。(URL <https://youtu.be/lvC881PGJxM>)

【お問い合わせ先】

佐賀大学校友会事務局

TEL：0952-28-8390

E-mail：koyukai@mail.admin.saga-u.ac.jp



本部便り

会費納入のお願い

楠葉同窓会の運営経費は、会員の皆様からの会費によって賄われています。

会報「なんよう」（年1回7月発行）をご覧いただければ、県内外の同窓会活動を知っていただけるものと思っております。

身近に同窓生の集まり等もなく、参加する機会がない方にとって、会報やホームページが唯一の接点であり、情報発信を充実していくことで、同窓生とのつながりを維持しようと役員・事務局一同努めております。

しかし、近年、会費納入率が低下しており、同窓会運営も厳しくなっておりますので、どうか同窓会活動の趣旨をご理解いただき、お力添えをお願い申し上げます。

| 払込取扱票 | | | | | | | | | | 通常払込料金加入者負担 | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|-------------|---|---|---|---|
| 口座番号 | | | | | | | | | | 金額 | 千 | 百 | 十 | 円 |
| 017609 | | | | | | | | | | 2 | 5 | 6 | 3 | 5 |
| 佐賀大学楠葉同窓会 | | | | | | | | | | 料金 | | | | |
| 振込先 佐賀大学楠葉同窓会 1年会費 2,000円 10年会費 20,000円 終身会費 60,000円 入学時10年会費を納入された方は、40,000円 勤務先 | | | | | | | | | | 備考 | | | | |
| 依頼人 佐賀大学楠葉同窓会 お名前 住所 〒 電話番号 日 冊 印 日 冊 印 | | | | | | | | | | 料金 | | | | |
| 備考 佐賀大学楠葉同窓会 佐賀大学楠葉同窓会会費を送付します。 1年会費 2,000円 10年会費 20,000円 終身会費 60,000円 入学時10年会費を納入された方は、40,000円 勤務先 | | | | | | | | | | 備考 | | | | |

振替払込請求書兼受領証

| 口座記号番号 | | | | | | | | | | 金額 | | 千 | | 百 | | 十 | | 円 | | |
|-----------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|----|---|---|---|---|--|---|--|---|--|--|
| 017609 | | | | | | | | | | 2 | 5 | 6 | 3 | 5 | | | | | | |
| 佐賀大学楠葉同窓会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 依頼人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| お名前 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 住所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 〒 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電話番号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日 冊 印 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日 冊 印 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

- 〈会費〉 (1) 1年会員…… 2千円 (2) 10年会員…… 2万円
 (3) 終身会費…… 6万円 (10年会費納入者は4万円)
 (4) 納入会費6万円に達した時点で終身会員とする

〈納入手続き〉 会費納入の手続きは、上記のゆうちょ銀行、郵便局の「赤」の払込取扱票をご利用下さい。ご不明な点がございましたら、事務局 (0952-23-1253) または、ホームページ「お問い合わせはこちら」からご連絡下さい。

住所変更などの報告

同窓会会員名簿は、会員と同窓会、会員と大学、会員相互を繋ぐ資料として、また、大学が必要とする広報・統計資料として活用しています。個人情報、同窓会の財産として同窓会事務局で厳重に保管・管理を行います。

変更があった場合は、氏名、入学年度、住所、電話番号、勤務先を明記して、下記事務局に、電話・FAX、メールまたは、同窓会ホームページ「お問い合わせはこちら」からお知らせして下さい。



編集後記

本年度より、会報の担当となりました。皆様どうぞよろしく願いいたします。私が楠葉同窓会の役員になったのが2019年4月になります。就任して程なくして世の中がコロナ禍に見舞われました。楠葉同窓会の活動も縮小せざるを得なくなり、いろいろな制限がかかりながらも経済学部の学生のために同窓会としてなにができるかを全員で知恵を出しながら活動を行ってきました。コロナも5類に移行となり、これまでやりたくてもできなかったことが徐々に再開に向かうことと思えます。

私も本部役員として「楠葉同窓会」の様々な本・支部の活動、学生交流や支援活動がこれまでに以上に活発になるよう頑張っていきますので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

中島 誠一郎 (経済・平8入)

発行 佐賀大学楠葉同窓会
 佐賀市本庄町 佐賀大学菱の実会館内
 TEL 0952-23-1253 FAX 0952-25-5700
 E-mail : dousokai@sadai.jp

発行者 江口 達也 (経済・昭56入)
 編集者 中島誠一郎 (経済・平8入)
 代表者